

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市軸形成促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	313質の高い既成市街地の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	【東鎌西口】地域の活性化に向けて、引き続き商工振興課とも連携しながら、支援策の検討を行う。 【初富】初富駅前広場等の整備に向けて、整備箇所周辺の現況測量を実施する。また、事業計画について、地域住民等への周知を図る。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	引き続き、事業計画について地域住民等の協力、また、事業実施に向けての用地・路線測量及び関係機関との調整を行う。
②①に基づく取り組み結果	初富地区について、事業の基礎調査として現況測量を実施した。また、事業計画について、関係地権者をはじめとする地域住民等へ周知を図った。東鎌西口地区は地域の活性化に向けて地元まちづくり団体等と意見交換を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	初富駅周辺地区	意図(対象をどうするのか)	初富駅へのアクセスルートと駅前広場の整備を行う。
②事務事業の概要 都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。初富駅は、新京成線連続立体交差事業が平成31年度に供用開始に向けたスケジュールが示されたこと、また駅前へのアクセスルート及び駅前広場の必要性から、昨年度整備計画を策定し、今後、地域住民や関係機関と協議を行いながら事業を推進していく。その他の関連事業は必要により地域住民と意見交換等を行う。				
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など) 新京成線連続立体交差事業が平成31年度に供用開始が見込まれる状況と、駅前広場及びアクセスルートの整備を促進する必要がある。				

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果		初富駅周辺地区の現況測量調査を実施した。また、事業計画について、関係地権者をはじめとする地域住民等への周知を図った。					
②成果を表す指標		指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	道路整備着手延長(東鎌西口)	125	-	-	m	業務取得
	ii	用地取得面積(初富)	0	265	0	m ²	業務取得
	iii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	-	-	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト		平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)		30,511	1,620	金額(千円)	内容	4,000	
国支出金(千円)		0	0	1,620	初富駅周辺現況測量委託	0	
県支出金(千円)		0	0			0	
市債その他(千円)		24,500	0			0	
一般財源(千円)		6,011	1,620			4,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	初富駅周辺地区は、主要地方道及び主要市道に囲まれ交通量が多く、また近隣商業地域という特性から商業施設を含む多くの建物が密集している地区である。このことから事業の推進に伴っては、新たな用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	事業は市の都市基盤としての整備と、通学路の安全性を高める側面から実施する事業である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	現況測量	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	事業の実施に向けた現況測量が完了した。	2,000	2,000	当初	2,000	1,620	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0		現年分	1,620
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)						0